

令和6年度 仙台市宮城野障害者福祉センター
「市民防災の日」仙台市シェイクアウト訓練に参加しました。

令和6年6月21日（金）
仙台市宮城野障害者福祉センター

令和6年6月12日（水）、「市民防災の日」仙台市シェイクアウト訓練に参加しました。当日は、センター職員と利用者30名が地震発生時に身を守るための身体保護訓練を実践し、地震から身を守る安全行動1-2-3（姿勢を低く・頭を守って・動かない）を基本に、1分間の身体保護を行いました。

また、今回はシェイクアウト訓練の他、仙台市防災行政用無線通信訓練と車椅子垂直避難訓練、福祉避難所開設訓練も併せて実施し、防災や減災に係る職員の準備意識の向上と実践力の強化を図りました。

福祉避難所開設訓練では、避難所開設の指示があってから、防災倉庫内にある食料などの備蓄品、簡易ベッドやパーティションを素早く館内に運び、迅速な避難所設置訓練を行うことができました。参加者からは、「なかなか防災倉庫内の物品を搬出する機会がないので、福祉避難所開設の際に必要な物を確認でき、とても良い機会だった。」との声も聞かれました。

宮城県沖地震から46年、東日本大震災から13年が経過し、記憶の風化が懸念されますが、今回「市民防災の日」仙台市シェイクアウト訓練に参加することで、改めて地震発生時にとるべき避難行動について再確認することができました。

訓練の後半には、仙台市防災・減災アドバイザーによる防災についての講話があり、地震発生時の自宅内に潜む危険や家具の固定方法等、住まいの安全対策について学ぶことができました。

今回の訓練を通じて、訓練を継続的に実施していく事の重要性を改めて実感することができました。

今後も安心・安全な施設サービスの提供と地域防災に対する意識を高め、有事に備えた支援、サポート体制を整えていけるよう努めていきたいと思っております。

